

That's きっとす 平成 31 年 3 月

## スマレに会いに出かけませんか

だんだんと暖かくなり、春が近づいてまいりました。春の訪れとともに、野山ではアオイスミレが咲き始めます。今回は、春を彩るスマレについてお話ししましょう。

スマレは世界で約 800 種あるといわれ、そのうち約 500 種が木の仲間で、約 300 種が草の仲間です。日本で観察される種はいずれも草の仲間で、60 種以上になります。古来より日本人に親しまれており、『万葉集』でもスマレの歌が詠まれています。

スマレは、人だけでなく、昆虫にもとても人気があります。花の蜜は、距（きょ）という花びらの後ろの突き出た部分の奥にあります。そのため、長い口を持ったチョウやアブの仲間が集まり、蜜を吸っていきます。また、タチツボスマレなど数種のスマレは、タネにエライオソームという栄養たっぷりの付属物がついています。アリは、エライオソームが大好物で、タネは食べずに残します。そのため、スマレは次世代を残すことができるのです。

天覧山・多峯山でも多くのスマレが咲いていて、少し歩けば簡単に出会えます。オススメは、ニオイタチツボスマレです。鼻を近づけてみますと、甘い香りがよく香ります。花びらは濃い紫色、中心部は白色で、花びらが丸みを帯びているという特徴があります。見つけたら香りを楽しんでみてくださいね。（長谷川）

